こんな方にご利用ください

- ●自閉症・知的障がい者で、 言葉と絵で伝えると理解しやすい方
- ●聴覚に障がいがある方
- ●視覚に障がいがある方
- ●言語に障がいがある方
- ●相手に伝えることが難しい方

発 行:2012年3月

発行者: 荒川区 福祉部 障害者福祉課

(問合せ) 住所:東京都荒川区荒川2-2-3

TEL: 03-3802-3111 内線 2685

FAX: 03-3802-0819

イラスト: 櫻田 耕司

協力: 財団法人 明治安田こころの健康財団 セイフティーネットプロジェクト横浜

荒川区

コミュニケーション支援ボード

マニュアル

荒川区 コミュニケーション支援ボード

Communication support board 커뮤니케이션 지원 보드/交流支援板



禁川文

完 荒川区

目的

文字や言葉で伝えることが難しい方は、コミュニケーション支援ボードの 絵を指さして意志を伝えることが出来 ます。また、コミュニケーションのと りにくい方にも、言葉かけと絵を見せ ることで伝えやすくなります。

コミュニケーション 支援ボードの使い方

1

何か困っていたり、 何か伝えたいことがあるときには、 正面にまわって注意を引いてから、 ゆっくり、やさしく 声をかけてみてください。



2

言葉の意味が通じていない時や 相手が何を言っているか わからない時に「どうしましたか」と コミュニケーション支援ボードを 見せながら聞いてみてください。



3

相手にコミュニケーション 支援ボードを指さしてもらうことで、 意思を確認してください。



4

指さしが困難な方には、 支援者から、指さしをして、 その反応を表情や 動作によって確認してください。



5

言葉が話せなくても、 文字が書ける方もいます。 コミュニケーション支援ボードの 最後のページの ホワイトボード(水性ペン使用)を 使ってみてください。



例えば

質問に対して、〇か×で意志の確認をします。





言葉で伝えることや、

指さしで伝えることが難しい方は…。

「はい」と「いいえ」の合図を

決めておきましょう。

例えば

まばたき1回・・・・・「はい」

まばたき2回・・・・・「いいえ」

≦ 1本……「はい」

指 2本・・・・・「いいえ」



本人が支援者に 伝えたい時



支援者が本人に 確認したい時

